

牧之原市の教育 2024

基本理念

「こころざしを持ち 夢ある人づくり」

牧之原市教育委員会では、教育大綱の理念や教育目標の実現のため、また第3次総合計画の分野別計画にも位置付けられる計画として「教育振興基本計画」を策定しています。

この計画に基づき、本市では「こころざしを持ち 夢ある人づくり」を目指して次のとおり取り組んでいます。

牧之原市教育大綱 (令和6年度～令和12年度)

基本理念 こころざしを持ち 夢ある人づくり

目指す人物像 ○気づき、考え、行動する人
○人を思いやり、人との対話を大切に人

教育の目標1 確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します

教育の目標2 豊かさが実現できる教育を推進します

1
キャリア教育の学びの実現

2
次代を切り拓く力を育む新しい学校の実現

3
生きがいを持った豊かな暮らしを目指す生涯学習活動の推進

4
図書館機能の充実

5
郷土の歴史・文化の振興

6
スポーツの振興

牧之原市教育振興基本計画(令和5年度～令和8年度)

整合

第3次牧之原市総合計画(令和5年度～令和12年度)

1 キャリア教育を軸とした9年間の学びの実現

学校教育課 小中一貫教育推進事業

「次代を切り拓く力」の資質・能力を育むために、キャリア教育を「起郷家教育」と称し、「地域の再発見（小5）」「命と防災（小6、中1）」を全校実施し、本年度は、静岡大学と協働して「仕事と価値創造（中2・3）」のプログラムを作成します。

また、授業では、教科ごとの「9年間のカリキュラム」を作成しました。このカリキュラムには、義務教育9年間を見通す中で、「この発達段階ではこうなってほしい」という教員の願いが込められています。

学校教育課 日本語初期支援教室いっぽ

令和5年4月に開講した日本語初期支援教室いっぽでは、海外から移住した外国籍児童生徒が、日本の小中学校での円滑な学校生活や学びを目指して学んでいます。最長6カ月という期間で、子どもたちはひらがな、カタカナの読み書き、小学校2年生程度の計算の習得などに励んでいます。

学校教育課 教育支援センターフルール サテライト会場

教育支援センターフルールでは、さまざまな理由によって学校に通えなくなった子どもたちに対して、在籍校への復帰と社会的自立に向けた支援をしています。

その中で新たな支援として、サテライト会場が相良地域に開設されることとなりました。サテライト会場でも、榛原会場と同じく、学習・ふれあい・相談活動などを行っていきます。



2 次代を切り拓く力を育む新しい学校の実現

学校再編推進室 学校再編計画推進事業

市立小中学校10校を再編し、令和12年を目途に榛原地域に1校、令和15年に相良地域に1校の施設一体型義務教育学校をつくり、子どもたちの学びや育ちにとってよりよい教育環境を整えていきます。

令和6年度には、榛原地域の設計業者を公募型プロポーザルにより決定し、相良地域では土地の測量や造成設計を行います。

3 生きがいを持った豊かな暮らしを目指す生涯学習活動の推進

社会教育課 生涯学習事業「まきのはら塾」

「まなびかがやくまきのはら」をキャッチコピーとした「まきのはら塾」が令和5年度より開講しました。

令和6年度は講師95人による200講座が開催され、約2,000人の受講者が参加予定。豊かさが実現できる生涯学習活動の場を提供しています。

4 図書館機能の充実

社会教育課

図書館事業

令和6年4月21日に文化の森図書館いろ葉が、令和3年4月に開館した図書交流館いこつとに続き、リニューアルオープンしました。

今後は、第2次図書館基本計画に基づき、市民の交流拠点として、くらしを支える専門サービスの充実を図っていきます。

5 郷土の歴史・文化の振興

大河ドラマ活用推進室

田沼意次侯顕彰事業

郷土の偉人田沼意次侯については、2019（令和元）年の生誕300年を契機に、功績の顕彰を通じて、地域の活性化や郷土愛醸成につなげる取り組みを進めています。その中で、令和5年10月には2025（令和7）年年NHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺（つたじゅうえいがのゆめばなし）～」に登場することが決定し、意次侯への注目が高まっています。

この機会を最大限に活かすため、市内各種団体で構成する牧之原市大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会を中心に、冊子などの広報物制作や大河ドラマ展の開催など、各種事業を展開し、意次侯の顕彰と地域活性化を目指していきます。

大河ドラマ活用推進室

将棋によるまちづくりの推進

郷土の偉人である田沼意次侯が将棋を好み、また、女流棋士の加藤桃子さんの出身地であることから、本市では将棋によるまちづくりを行っています。令和5年度には、藤井聡太王位によるトークショーが行われたほか、藤井王位が萩間小学校を訪問し、指導対局などで児童と交流しました。

本年度も「伊藤園お～いお茶杯第65期王位戦」第6局の開催地に平田寺が3年連続で選ばれました。タイトル戦の実施を含め、将棋大会、指導対局の実施によって将棋の普及と振興を進めるとともに、子どもたちが将棋に親しむ機会を提供することで、集中力、忍耐力そして礼儀作法などの生きる力の育成にも取り組んでいきます。

6

スポーツ推進課

スポーツの振興 プロスポーツチームとの連携

県内のプロスポーツチームと連携を図り、スポーツの振興や青少年の健全育成、シティプロモーションの推進などに取り組んでいます。

本年5月にオープンしたGasOneアリーナ牧之原では、ベルテックス静岡のプレシーズンマッチ開催やバスケットボールスクール開校など、新たなスポーツ施設を利用した賑わいの創出が図られています。また、三遠ネオフェニックス、藤枝MYFC、静岡ブルーレヴズとは、ホームゲームにおいて特産品や観光の宣伝活動や、市内小学校におけるスポーツ教室などを開催し、スポーツを活かしたまちづくりを進めています。

相良総合グラウンドの人工芝整備

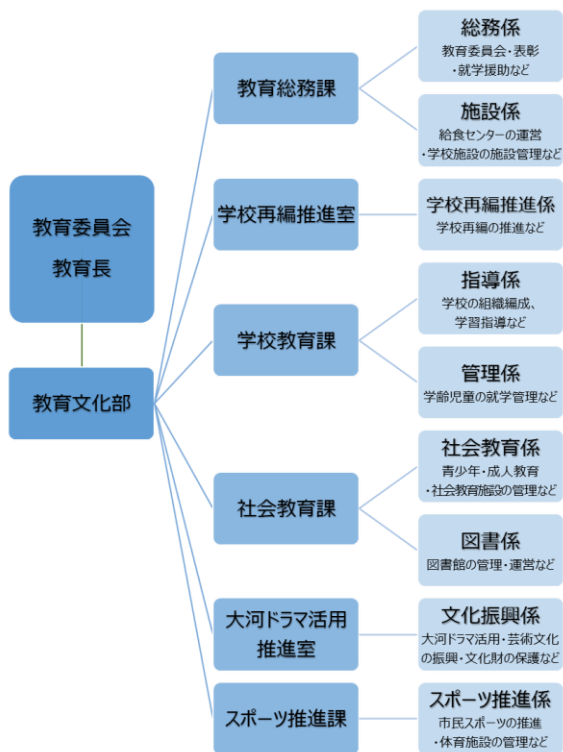
スポーツ推進課

相良総合グラウンドは、サッカーや野球、グラウンドゴルフなどのスポーツ拠点施設として利用されています。同施設は、老朽化に加え、施設利用者の安全性や利便性の向上を図るため、多目的グラウンドにおいてサッカーコート1面の人工芝を整備するとともに、老朽化したネットフェンスを撤去し、新たに防球ネットなどを整備します。

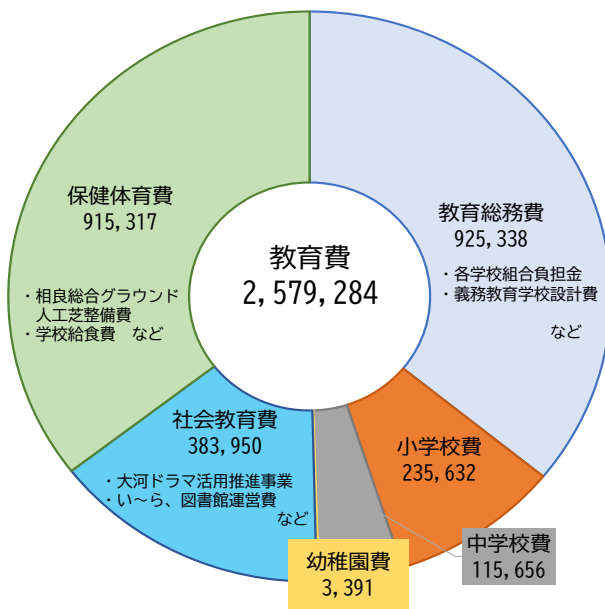
市内では初の人工芝整備となるため、県内外からスポーツ団体の利用促進を図るとともに、スポーツの大会や合宿等を誘致し、地域経済の活性化を図っていきます。



牧之原市教育委員会組織図 (令和6年4月1日現在)



令和6年度教育費予算(単位:千円)



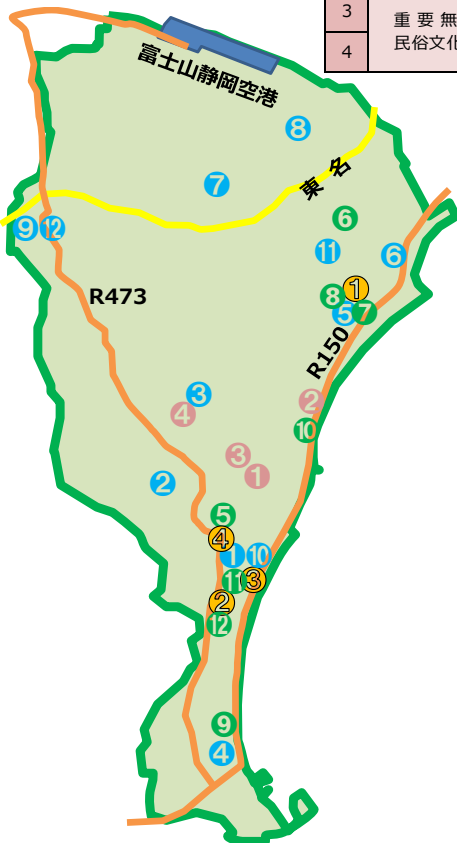
市内小中学校学級編成状況 (令和6年5月1日現在)

学校名	児童生徒、クラス数 ()は特別支援児童生徒、クラス数
1 相良小学校	381(27)人 18(5)クラス
2 菅山小学校	123(5)人 8(2)クラス
3 萩間小学校	143(6)人 8(2)クラス
4 地頭方小学校	173(8)人 8(2)クラス
5 川崎小学校	379(14)人 14(2)クラス
6 細江小学校	382(15)人 15(3)クラス
7 勝間田小学校	112(2)人 7(1)クラス
8 坂部小学校	126(8)人 8(2)クラス
9 組合立牧之原小学校	171(3)人 8(2)クラス
小学校計	1,990人 94クラス
10 相良中学校	378(17)人 15(3)クラス
11 榛原中学校	516(18)人 18(3)クラス
12 組合立牧之原中学校	79(3)人 4(1)クラス
中学校計	973人 37クラス
合計	2,963人 131クラス

※組合立学校の児童生徒数については、菊川市民含む

主要な文化財・教育施設

文化財			
1	国宝	古文書	聖武天皇勅書(平田寺)
2	重要文化財	建造物	大鐘家住宅 主屋・長屋門
3	重要無形 民俗文化財	無形 民俗	大江八幡神社の御船行事
4			蛭ヶ谷の田遊び



社会教育施設	
1	榛原文化センター 文化の森図書館 いる葉
2	相良総合センター い ~ ら
3	史料館
4	図書交流館いこっと
体育施設	
5	相良総合グラウンド
6	榛原総合運動公園
7	静波グラウンド
8	静波体育館
9	地頭方体育館
10	片浜体育館
11	相良 B & G 海洋センター
12	GasOneアリーナ牧之原